

出会い

井口和基は1986年9月13日にアメリカ、ユタ大学に留学しました。そこでほぼ同時期に留学していた、近藤キミさんと友人になりました。彼女はその後1988年に、ミネソタ大学に移り、その夏休みの6月に妹の和子（愛称、カコ）さんと一緒にユタを旅行しに来ました。彼等がユタ大学に来たとき、たまたま大学ユニオンカフェの近くの噴水の前で私と出くわしました。それが私とカコの初めての出会いでした。最初に私がカコにかけた言葉は、「なんか痩せたんじゃない？」というものでした。というのもキミさんから以前写真で妹のカコのを見せてもらったことがあり、そのときの印象より細く見えたからでした。



再会

1週間程後、キミさんが本を貸してほしいと言うので、大学ユニオンカフェへ持って行ったのです。そこで我々は偶然にも再び出会いました。キミさんと話しているうちにたまたまカコが「姉とジョギングするけど一緒にしませんか？」と言うので、私もすることにしました。その頃私は毎日ユタ大学の周りをランニングしていたからでした。シュガーハウスというきれいな公園でジョギングしました。ジョギング後、芝生の上で初めて私とカコはまとまった話をしました。この頃、私はアメリカへ来て以来初めてPh.D.をとるための良い仕事ができ、最も気分が爽快な時でした。当然私はその物理学の話(1次元準周期格子の理論)をカコにしました。彼女は解らないながらも、その話を実に良く聞いてくれました。この間、カコは芝生の上で足を蟻に嘔まれてしまいました。時間はあっという間に2時間がたち、我々は名残り惜しくも帰宅しました。



その晩、きっと和基さんから電話が来るよという、キミさんの予言どおり、私はカコに電話し、我々は再び話しました。とにかく、話しがしたい、会いたいという気持ちで満ち溢れんばかりでした。そして一度私の大学の研究室に遊びに来てくださいと約束したのです。

次日、私は大学へ行くとき、車のオイル漏れの異常を見つけ、その修理に出かけました。そして修理が終り、大学へ戻ると、私のオフィスの前に小さな見慣れないジョギングシューズが置いてあるではありませんか？そしてすぐにビルの外に出るとそこにカコがバスケットを持っていました。このバスケットにはサンドウィッチが入っていて、二人で大学の裏手の山にある大きな家の前の芝生で食べました。そして有名なU of Utah のUの字のあるところへ行きました。ここからはモルモン教徒がアメリカ東部から迫害を逃れて来て初めて見たであろう、そして彼等が「神の地」と称した素晴らしい景色が見えます。ここで我々はいくつか写真を撮りました。これが我々の初めてのデートでした。それからカコが帰国するまで何度もデートしました。名残惜しかったけれど、我々は一旦別れなくてはなりませんでした。



もっと後

[ホームページ](#) [和基](#) [和子](#) [維作](#) [条藤](#) [家族](#) [Donation](#)

「井口和基博士と家族のホームページ」
〒774-0003 徳島県阿南市畷町新はり70-3
井口和基 (C)2004